

学会誌 vol.37-4 「テラヘルツ波リモートセンシングによる地球惑星探査（仮題）」  
特集/小特集号への原稿募集

テラヘルツ波は、電波と光の境界領域に相当する電磁波であるため、両者の性質が混在し、高解像度の透過センシングや大容量無線通信などその周波数特性を活かした新しい技術が開拓されています。近年の技術進歩は著しく、超小型センサの実現など、地球や惑星における新たなリモートセンシング観測が期待されます。今回の特集号は、地球や惑星を観測対象とするテラヘルツ波リモートセンシングに注目し、その基礎技術・観測手法・応用に関する最新の研究成果や問題点等の紹介を幅広く特集することを目的としています。下記の要領で、論文、総説（レビュー）、技術報告等の原稿を募集する事になりましたのでご案内致します。皆さまのご投稿をお待ちしております。

記

- ・ 特集号名（仮題） 「テラヘルツ波リモートセンシングによる地球惑星探査特集号」
- ・ 掲載予定号 37-4号（2017年9月刊行）
- ・ 募集原稿種別 論文、小論文、総説（レビュー）、技術報告、事例紹介
- ・ 原稿のテーマ テラヘルツ波リモートセンシングを対象とし、基礎技術から先端研究、また、利用事例に関して、幅広く募集します。
- ・ 原稿査読 論文、小論文、総説（レビュー）、技術報告に関しては、通常通りの審査を行います。\*速報、事例紹介は査読がありません。
- ・ 投稿原稿期限 論文など査読の必要な原稿：2017/2/14（火）  
速報など査読の不要な原稿：2017/8/17（木）
- ・ 投稿規定・投稿先 詳細は、以下のページをご参照ください。  
<http://www.rssj.or.jp/journal/gakkaishi/>  
\* 投稿原稿の筆頭著者は原則として本学会会員とし、筆頭著者が会員以外の場合には、ページチャージを負担していただきます。また、投稿原稿の言語は日本語または英語を使用してください。
- ・ 留意事項 査読審査の進行状況によっては、受理された論文が37-5号以降に掲載される場合があります。
- ・ 本特集号に関する問合せ先（37-4号担当編集委員）  
石井昌憲（情報通信研究機構）email: [sishii@nict.go.jp](mailto:sishii@nict.go.jp)

以上

日本リモートセンシング学会編集委員会  
委員長 松永恒雄（国立環境研究所）

37-4号担当編集委員 石井昌憲（情報通信研究機構）

37-4号ゲスト編集委員 笠井康子（情報通信研究機構）